

会 議 記 録

会議名称	町民説明会
開催日時	令和 8 年 3 月 24 日 (火) 18 : 30 ~ 20 : 00
開催場所	健康管理センター 2 階会議室
出席者	参加者 : 25 名 町 : 町長、副町長、事務局 3 名

< 会議内容 >

説明・懇談

・説明・・・会津坂下町役場新庁舎建設基本計画（案）について

・懇談

(町民A)

最後の方の財源というところに 30 年償還の利子を書いてないがこれはどのくらいになる予定か。

(事務局)

概算事業費と財源ということで資料は載せているがその詳しい内容については今回載っていないような状況になっている。ご質問が、財源は書いてあるが利子がどのくらいになるのかということで、利子について今手持ちの資料で明確な数字を把握できてないため大変申し訳ないが、令和 8 年 2 月に長期財政計画を 10 年間分作成している。その中では利子についてもすべてシミュレーションの中で試算した上で、このような形で 10 年間で十分成り立つというような姿をシミュレーションすることができた。そのため継続的に財政運営が可能だと町で判断したというものである。

(町民A)

私が財務課から聞いた情報では約 12 億円という話を聞いた。30 年間だと 12 億円かかるそうである。その金額は今の 41 億 3800 万円から計算した額ではないかもしれないが、前町民に説明した庁舎整備課の計画から出した額だと思う。12 億円を入れると実際に財源はさらに 12 億円増えるのではないか。これを公債費で返すとなると年間どのくらいかかるのか。

(事務局)

財務課からそのシミュレーションで 30 年償還する場合の利子のトータルが約 12 億円だという話があったということかと思われる。もちろん 30 年間で償還するため、だんだん利率も上がっており利子の方が多くかかるということは承知している。その 12 億円についてもシミュレーションの中にはきちんと入れて計算した上で継続的な運営ができるという判断をしたところである。返済がどのくらいかという部分だが、当然 12 億円であるため例えば 10 年で返しても 1.2 億円。30 年で返

すわけであるため毎年 4000 万円ずつ増えるというようなことだと思う。当然利子の分余計に事業費がかかるということにはなる。ただ、もちろんトータルで見ればそのようなことは言えるが、もう一方で世代間の負担を公平にしなければならないという考え方もある。そのため一般的に自治体などでは起債、地方債などをしながら世代間で公平に償還して負担の平均化を図ろうというような考えがある。そのような考え方で 30 年の起債としている。また、今一般的な起債でシミュレーション上は書いてあるが、その後できるだけ交付税措置があるような有利な起債や補助金などを検討して、シミュレーションの形を今の形よりも良い形にしたいという説明を今したが、そういうものを使った場合だと償還の利子についても交付税の措置の対象になるため、そういったところで町としては継続的な運営を図っていきたいという考えである。

(町民A)

町の借金する計画としては、庁舎建設だけではなく他に下水道建設や今までの借金が一般会計と特別会計で 50 億円ぐらいあると思う。それで下水道は建設課に聞いたが、完成まで 10 年かかり、60 億円への利子もかかるという情報もある。これは実際に係長から聞いた話である。そうすると、30 年償還で返せると言っても 10 年間しか財政シミュレーションでは出てないわけであるが、あとの 20 年間はこういった保証になるのか。

(事務局)

おっしゃるように、町の長期財政計画は今後 10 年間の財政の状況をシミュレーションしたものである。その先については確かに試算の方はしていない。ただ、これについても長期財政計画のシミュレーションというのは毎年見直しを行いその後の 10 年継続的に運営できるかという試算をしている状況であるため、当然この先の 20 年間についてもそのような試算をしながらきちんと財政運営が図れるように町の方としては対応していきたいという考えである。

(町民A)

公債費について、財政シミュレーションを見たが、現在 7 億円程で 10 年後には 5 億円台に落ちるが他の借金と一緒に返して大丈夫なのか。私が考えるところでは 10 年後ぐらいから借金がなかなか返しにくくなるのではないかと考えている。下水道計画をやめるなら別だが。それから庁舎建設もある程度抑えたとは思いますがこれも大きく、今までの借金もある。十何年後には負債は 100 億円を超えるのではないかと。私の計算では 100 億円をはるかに超えていた。これは庁舎建設だけではなく町の財政状況があまり良くないと思う。他にも、公民館があと 10 年程で建て替えが必要ではないかという話もあり、本当に色々なものを含めて返せるのかどうか心配だが、これは 30 年で返せると断言できるのか。

(事務局)

公債費とは町が年間に支出する借金の返済額のことを言う。その例が、今回のシミュレーションの中では、年間に返済する額は令和 12 年度の 7 億 2000 万円がピークであり、それ以降は返済額が毎年少なくなっていく。令和 17 年には 5 億 7000 万円になるというシミュレーションになっている。

そのため徐々に毎年返す借金額が減っている。これは庁舎建設を入れた上でのものであるため、十分継続ができると町では考えている。

(町民A)

だいぶ自信がある発言だが他の借金の方は大丈夫なのか。下水道や今までの借金も含めて本当に30年できっちりと返せるのか。町長もいるため、下水道建設は今後どうなるか一言説明いただきたい。

(町長)

下水道に関しては現在市中線を行っているが、それが完成したら今度すべて見直しをかけながら、公共下水は大きく拡張していかないというような方針は持っている。なかなか加入率も良くないため拡張して行かないという方針を持っているが、ではどこまでをどうするのかという詳細についてはこれから詰めるところであるため、今はとにかく市中線の下水道を早く完成させ、皆さんに早く使用していただくということを目指しているためご理解いただきたい。

(事務局)

下水道事業等の企業会計で行っている事業については企業会計の中でまたさらに財政計画、財政運営のための経営計画ももちろんきちんと確認しており、町民からいただく使用料と、維持管理にかかる経費、あとは拡張していく経費をバランスよく財政運営的にやっていくということで、それについても経営の見直しを5年間のスパンで行っているということでご理解いただきたい。

(町民A)

具体的な数字が上がってないが、私は10年間で60億円と聞いた。計画ではこれを見直して圧縮するということか。

(事務局)

数字がないため適正にとしか言えないが、60億円というその全体事業費の話については今町長が言ったように、公共下水道で進めるべき区域も含めて見直しをしながら適正な事業運営をしていきたいということで行っていくところである。

(町民A)

私が聞いた話では現在においても40億円かかっているそうである。今後10年間でさらに20億円必要だという話を聞いた。そのため、いくら圧縮しても40億円はかかるという話だった。そうすると庁舎建設とその利子で50億円を超える。今の一般会計と特別会計の借金は把握していないが去年だと50億円程だった。そこは大体で結構だが、それで10年後の財政シミュレーションができていくということだと一体町にどのくらいの借金が残るのか答えてほしい。下水道などの他の財政シミュレーションもできているだろう。財政シミュレーションの結果どのくらいの借金が残るのか答えてほしい。

(事務局)

先ほど言ったが企業会計の部分は本日持っていないため、一般会計の長期財政計画というところで先ほど説明したが、特別会計については特別会計で完結しているということになる。今借金の話と事業費の話があったが、下水道事業でいうと年間で行われる事業に対して国県の補助があり、1/2ぐらいは国県の補助がある。その残りの 1/2 を借金しながら事業を進めていくということと、加入していただいた方から使用料と、受益者負担金という土地にかかる受益者の負担金をいただきながら新たに区域を拡大しながらやっていくということで、一般会計からはできるだけ支出はしないようなシステムになっているためその辺はご理解いただきたい。一般会計については先ほどから説明している通り、もちろん長期財政計画の中で 10 年間きちんとシミュレーションしているが、毎年その 10 年間で後ろに 1 年ずつ確認しながら町全体の財政運営をしているというところでご理解していただきたい。

(町民A)

数字が出ていないため理解できない。

(町民B)

A氏の質疑は一回保留して、他の方に質問があるか伺ってそれで無かったらもう1回A氏の質疑を受けるという形で進めてほしい。

(事務局)

では別の方でご質問ご意見等あれば挙手いただければと思う。

(町民C)

私はもう 86 歳であるため面倒くさい数字は分からないが、日本経済新聞には北見市が財政難に陥っていると出ていた。人口が 12 万人で建設費が 4 年前に建てて約 120 億円。4 年目に財政難に陥ったということで、経済新聞で 7 年の 10 月から何回かに分けて、全国的な積極投資の後遺症という話で出ている。坂下の場合は人口が 1 万 2000 人で、これからどのくらいかかるのか分からないが建設費を 50 億とした場合、人口比に対するそういった投資額。私が単純にそういうふうに見たとき、坂下まずいのではないかと感じた。今喜多方市や須賀川市でそういう財政難の問題が出ている。財政難の話が始まるころはこれを立ち上げた人たちがみんないなくなってしまうという世界である。どこもそうだが。そのため誰も責任を取る人がいない。個人で住宅ローンを借りた場合は自分に責任があり最後まで死に物狂いで返すわけだが。こういう北見市の場合を見ると坂下の場合の人口でどうなるのか。簡単に考えるとそんなところだと思う。

(事務局)

北見市の場合人口 12 万人で建設費が 120 億円で財政難に陥っており、今回坂下町で提案したのが、人口は今 1 万 3000 人だが建設費が 41 億円ぐらいということで、その金額の比率で言うと確かに少し余計ではないかというふうに感じられたのかと思うが、実際そういったご心配もある中で、

41 億円の金額そして利子の金額も先ほど申し上げたように財政シミュレーションの中で支出としてちゃんと積算している。その中で実際に 10 年間運営できて、町の借金の残高も年々減っていくというような姿でシミュレーションの方をしているというところが、責任というわけではないがそういう確証を町で持ってこの事業を進めているというところである。

(町民D)

私も 70 代で 10 年後には 80 代。本当に責任を負われるのは今 20 代 30 代 40 代の人たちが苦しむようになるということと、いくら頑張っても人口はこれ以上増えずに、小学生、保育園児を見ても人口は減っていくわけで、ではその返済が今のシミュレーションで上手くいくのかということも踏まえて、縮小できるところはできるようにして、子どもたちと若い人たちに負担をかけないようにやっていただければと思う。できればもう一度検討というよりも縮小。見ると色々なところから抜粋して行っていると思うが、色々なことを考えるとこれはいらなくてもいいのではないとかかこうの方がいいのではないかと思う。やはり町にあった財政にあったものをシミュレーションしていけばいいのではないかと思う。建てることに対しては何もないが、他を見て真似をするのではなく、本当に我が町に必要なものは何かということを考えていただければと思う。ぜひ若い人に負担をかけないようにお願いしたい。

(事務局)

まったくその通りだと私たちも同じように考えている。今回の庁舎の計画についても、基本計画(案)の中にもあるように特別華美なものではなく最低限必要な機能を持ったシンプルな庁舎にしたいという内容にしている。また、今後子どもたちに多大な負担をかけないようにという趣旨でシミュレーションの試算もしているが、それに加えて当然なるべく安くというような考えで町の方もこの計画を進めたいと思う。合わせて少しでも有利な国の財源などがあれば、そういったものが使えるようにより勉強して検討していきたいと考えている。

(町民A)

財源の方はあまり資料を持たれていないようなのでやめて、土地のことについて質問したいと思う。用地買収費 2 億 9400 万円と書いてあるが、これは前に説明会で受けた説明にも上がっているが面積も 14,000 m²と増えている。前の説明会の際は確か 2 万 m²を半分にするという案だった。なぜこんなに用地が必要なのか。

(事務局)

12 ページに新庁舎の建築計画ということで図面が記載されている。今記載されている面積については隣接団体 6,000 m²と役場庁舎敷地面積の 14,790.8 m²であり、あわせて 20,790 m²ぐらいの面積がこの敷地全体で表示されているが、以前話していた 20,000 m²の半分というのはこの 20,790 m²の半分というような話が最初出ていた。その後この敷地の北側にもう一区画旧厚生病院の駐車場跡地の敷地があり、その敷地も含めておよそ 23,000 m²という敷地を町としては分割して購入したいというような話を説明会でした。その後隣接団体と様々な協議をした中で、この敷地の中で今表示

されている面積の区分で土地の利活用をしようというような話になったため、今で言うと 14,790.8 m²で町の庁舎としての敷地と駐車場の敷地、全体的な有効的な利用を図りたいというところで少し増えてはいるが進んでいるところである。

(町民A)

床面積が前より減っている。前は 4,500m² だった。減らした上で駐車場スペースが随分多くなっていると思うがそんなに必要か。無駄な金ではないか。

(事務局)

トータルの延床面積が 4,500 m²から今回 4,000 m²を目標にしたいということで縮小を目標にしている。以前説明会で説明した際には基本的に 3 階建てをベースで考えていた。その場合だと 4,500 m²で単純に計算して建築面積が 1,500 m²程度となる考えだった。その後町で 2 階建てにした方が基礎の試算がいくらか軽減されるというようなことも検討し、また、2 階建ての方が使いやすく広々したものになるという考えの中で今回の計画は 2 階建てをベースにしている。そのため建築面積が前の説明会の時より広がっている。合わせて雪のことを考えると、どうしてもある程度広い面積がないと落雪等の危険などもあり、それだけの面積が必要というところも町としてはある。また、隣接団体と敷地の使い方について考えている中で、敷地内の道路について、そういった敷地内の道路の分の面積は町側に作る必要があったということもある。このような中で結果として面積が少し増えたというようなどころである。

(町民A)

この図面を見ると駐車場はどの部分なのか。庁舎にそんなに人が来なくなると言われており、来客がこれからはあまり来なくても済むようにするのではなかったか。それなのになぜ駐車場を増やすのか。

(事務局)

駐車場については特別増やしてはいない。規模の算定を行っている中で以前説明会にて説明した駐車場台数の考え方に基づいた駐車台数で配置している。ただ、町で取得した面積としては予定より少し増えたというところである。

(町民A)

最後にもう一回財源のところに戻る。財源のことは財務課にも何回かメールを送ったり電話をしたりして聞いているのだが、先ほどもあったが 10 年後は公債費が 5 億円代になる。前説明会で庁舎はそのうち 2 億円を使うという発言があった。下水道でも 2 億円くらい必要になるのではないか。下水道は 40 年償還だが 1 億円程度は使うだろう。つまり、10 年間のシミュレーションといっても下水道も庁舎も 30 年償還や 40 年償還と言っているのだから、10 年シミュレーションで計画が立ったというのはお粗末ではないか。私ももうすぐ 70 歳になり、先ほどの方も話していたが本当に今の人口減少のペースで行くと 10 年後は 1 万人を切るだろう。さらに 10 年後だと 7000 人程にな

る。それで大丈夫なのか。おおむね交付金も国庫支出金もだんだん減ってくるという見通しが財政シミュレーションに示されている。私は 10 年後くらいからなくなると思っている。

(事務局)

確かに 10 年分のシミュレーションしかしていないため、この先がどうなるかというところは見込めない部分はあるかと思う。ただ、一例を挙げると、令和 8 年 2 月に作った長期財政計画の中ではご心配いただいている町の借金の残高も年々減っているというような姿になっている。もちろん庁舎を建てて借金した時は一旦増えるが、それ以降は年々減っていくというシミュレーションになっている。傾きを考えれば、その先もある程度減っていく姿があるとは考えられるかと思う。また、合わせて一番大きいのは公債費の支出ということで毎年返す借金の金額。これが令和 12 年は 7 億 2000 万円。その後令和 13 年は 7 億 1300 万円。令和 14 年は 6 億 9800 万円という形でどんどん減っていく、令和 17 年の年間の公債費は 5 億 7100 万円ということでどんどん減っていく傾きとなっているため、この先も十分継続的な運営が見込めるというような試算と町としては考えている。

(町民 A)

減ったら逆に返せなくなるのではないかと。10 年後に 5 億円台になっても 30 年償還である。下水が 40 年償還。公債費が減ったら返せなくなるのではないかと。

(事務局)

先ほど申し上げた公債費の額というのは、30 年償還している毎年返す額も入っている数字である。その上でもだんだん年間返済額が減っているというシミュレーションになっているということであるためそこはご安心いただきたい。

(町民 A)

毎年一定ずつ返すのではないかと。そう説明していた。そうしたら下水道も庁舎建設も、10 年後 20 年後もかなり坂がある。本当に公債費を 5 億円に減らして減らして大丈夫なのか。この残りに、例えば産業化で計画している振興施設もある。あれも借金はないか。そのうち説明会を開くという話だが、借金でやるのかどうかも決まっていないという話だった。もともと庁舎課で企画した時には借金でやると聞いた。その 10 億円も入れたら本当に計算は合っているのか。

(事務局)

最初にあった 30 年償還の話だが、30 年間の償還は基本的に毎年同じ額ずつ返していくというような計算になっている。その毎年同じ額ずつ返す金額も含んだ金額が年間の公債費としてシミュレーションされており、令和 17 年度は 5 億 7000 万円程度になっているということでだんだん減っていくという姿である。そして疑問に思われている毎年返す額が同じなのになぜ減っていくのかという部分については、庁舎だけの話ではなく他の借金が終わっていくためだんだん減っていくというシミュレーションになっている。最後にあった地域振興施設の件だが、まだ町としても、今年初めて説明会を行い皆さんの意見を伺っているという段階である。そのため時期や計画などもまだ全く

ゼロベースで明確でないため、今回のシミュレーション上は入っていないというところである。

(町民A)

町長がいるため公民館について、中央公民館の寿命があと 10 年くらいだそうだがこれは建て替えるつもりか。

(町長)

中央公民館は現在で建ててから 40 年が経過した。一部雨漏れも発生しているような状況になってきているという状態だが、今後 10 年で建て替えるというような計画は持っていない。最低でも 20 年は使うように延命措置を図りながらも使用しなければと私としては思っている。

(町民A)

そうすると 20 年後には建て替えの可能性があるということか。

(町長)

私も 20 年後は多分生きていないと思うため、架空の話で今そうだという話にはできない。

(町民A)

公債費がどんどん減っていく中で中央公民館も公債費ではないのか。この庁舎建設のように基金をあまり積まないで無理して借金を 30 年にもかかって返すから、十何億も利子が必要になる。そういう予定されてるものがあるのだから、もっと基金を貯めて、これから必要な小学校や中学校、公民館など将来に向けて基金を積む計画はないのか。

(町長)

基金も公共施設整備基金と、この庁舎の積み立てと別に財政調整基金もあるが、これはいざという時、災害があった時など緊急の時に使わなければならないということで積み立てしている。そして先ほど申し上げた公共施設整備基金も別に今積み立てをしている。それで現在だと公共施設の屋根塗装をしたりというようなことで使っているが、これも余裕を見ながらどんどん積み増ししようというふうに今積み立てもしているため、それらをうまく利用しようと思っている。

(町民A)

庁舎建設に関しては、町の将来について人口減少の割には重い負担がこれからあると思う。だからこの庁舎建設の利子も含めてこれが本当に返せるのかどうか、本当にもう一度財務課とも話してほしい。それから先ほど振興施設の話もあったが、庁舎課から聞いた時は 8 億や 10 億という話が出ている。そういったものも含めてどんどん出ていくものがいっぱいあり、人は減る一方で、国の交付金や国庫支出金を当てにしても、それもどんどん減っていく。本当に大丈夫かと思っているのは私一人だけではないと思う。そもそも庁舎課は 12 億という利子も町民に知らせてない。それは住民に情報公開という意味でもまずいんじゃないか。私は聞いたがほとんどの人は知らない。だか

ら、41 億円かかって 41 億円を返しますで済ますつもりなのだろうが、財務課は、本当は 12 億円くらい追加でかかると言っている。そういったところを正直に公開しないと情報公開にならない。公債費のことも本当に計算が合わない。私は昔数学者だった。これは単純な足し算引き算の世界でもない。

(事務局)

最後にあった計算の話については、財政シミュレーションということできちんと町の財政の方で試算している数字であるため、それは信じていただきたいと思う。利子の件については、確かに利子だけを明確に庁舎で 12 億というようなことを公表しているわけではないが、町としてはあくまで新庁舎建設だけでなく町全体の事業の中できちんと町が運営していけるかということが一番を考えている。そのため全体のシミュレーションとして利子も加えた中で行った上で 10 年間継続的に運営できる。先ほど申し上げたようにだんだん下がっていくような姿というのを試算したところで、事業を進めるべきだということで行っているところであるためご理解いただきたいと思う。

(町民 E)

私はもう 10 年近くこの説明会に通っており、いつも言っているが、会津坂下町にはこういう新庁舎を目指しますということを言い続けてきた人がいない。決まったことを報告し、それに対しての不満と不安を提示して、それに答えるという負のループのようなことがずっと行われているような感じがいつもしているが、私たちはこういった明るい元気な新庁舎を作りますとか、未来の子どもたちのために頑張りますといった感じで変わらないビジョンのようなものが、10 年程行っているのに無いことが、この会議の意味はあったのかと思ってしまう部分がある。もう少し町民のために、夢の詰まった新庁舎を作るための会議ですとかそのために意見をくださいとか、もう少し未来トークとか未来予想図があれば、この会議が終わった後に坂下町は明るい町になっていくんだとか子供たちのためにすごい変わったんだとか思うことができる。何も変わらないため不安がずっと続いている会議なんだと長年通ってて思う。誰かが何かやり方を少し変えるなど、変化が必要な時なのかなと私は思う。通えば通うほど同じことをして、小学生がここに来て分かるのかなと思う。役場の人たちは何を指してるんだろうとか町民の人たちはこんな不満不平を持っているんだとか。不平不満だと子どもたちにいくら夢を与えようと思っても難しいと思うため、町民もプラスなことが帰ってくるような会議で、役場の方たちも、みんなで頑張るから力を貸してほしいといった感じの、そういった会議の方が絶対良いと思う。来るたびにに負をもらって帰っている感じがする。もう少し変えていった方がいいと思う。この会議自体、報告会説明会というよりは、何月何日に皆さんの意見を聞く会をやりますのでぜひ皆さん集まってくださいというふうにして、その後に、こういう意見があったとか。そういう安心を与えられるような方が良いのではないかなと思う。長年通っても負のループで、せっかくの会議、せっかくの時間、みんなの大切な時間であるため、それがもっとプラスになるような使い方、会議の仕方をしたらどうだろうかという意見である。

(事務局)

前向きな意見をいただいて、私たちも確かに説明して質問をいただいてそれに回答しているとい

う姿ばかりが目立ってしまっていて大変申し訳ない。本当に今いただいたご意見のように、皆さんこんなアイデアはどうですかとかいやこんなアイデアもどうですかというような、色々な意見をいただきながら、私たちも夢ある庁舎を、もちろん財源には気をつけながら作りたいというふうに思っているため、今後ともご協力をお願いします。

(町民D)

誰でも利用できる打ち合わせスペースとあるが、小学生でも中学生でも高校生でも誰でも利用できるような温かみのあるものにしてほしい。椅子を少し変えたり、子供達が自由にできたりするなど。あと、高校生から小学生、幼稚園の子の作品や、発想を得た町のプランを応募してそれを貼るなど。子供たちが将来ここに住みたいということを役場から発信していけたらいいと思うがどうだろうか。そういう子供たち中心に少しずつでも置いてほしいと思う。

(事務局)

子どもたちも含めて誰でも使えるようなスペースや会議室というのも今回の基本計画(案)の中では考えている。開かれた庁舎、例えばバス待ちの小中学生が待って勉強したり会話を楽しんだりできるようなスペースなどもあればということで考えながら設計したいと考えているため、今いただいた意見についても貴重なご意見として今後の参考にさせていただきたいと思う。

(町民F)

一町民として伺う。まず、先ほど振興センターの話が出たため振興センターのことを問う。振興センターが出てきたというのは、旧町内の庁舎移転についてなかなか町内の調整がうまくいなくて並べるような形で振興センターという話が出てきたと思う。そのため庁舎移転については振興センターがセットである。そう考えると、それを含めて庁舎の総額を考えるべきである。財政もそういうふうに考えるべきではないか。そうでないと空手形で終わってしまう可能性がある。

あと、先ほど色々言われた方もおるが、色々意見などよく聞いてほしい。私もずっと来ているが、今までずっとこういった説明会でも聞いたら終わり、それに対する回答、討論会そういったものがない。今回私の所属する団体が配置計画について1つの案を出した。そういったものについても、もう3ヶ月も経ったがどのように町で検討したのかとか、そういったことをその団体と一緒に考えようとか、そういったことが出てこない。出したものを押し進めるためにそういったものは話さないという姿勢が表れている。そういった出てきた提案に良いものもある。それについて、そういう提案が陳情としてあったのだから、例えばこういう説明会の時に、それを皆さんに案を配布するなりして示して、そしてこういう提案もあったがそれに対してどういうふうに町は考えたのか、答えたのか、そういうことをやらないと協働のまちづくりではない。最初にあいさつのときに言ったことは、大変良いこと言っている。しかし、実際は違う。そこをなんとかしてもらいたい。私が所属している団体から出た案に対して、討論会をやろうとか、その団体と色々話をしようとか、そういった姿勢が欠けているということを申し上げる。

(事務局)

まず1点目の地域振興施設については先ほどから話しているが、新庁舎の建設の後に、現庁舎の跡地の話であるため、今年度から町内会ごとの地域づくり懇談会というところで、ゼロベースでどういう施設がいいのか町民の方がどういうものを望んでいるのかということで話をしながら作り上げていくということで、事業費についても今のところまだゼロベースあるため、これから進んでいく中できちんと精査しながら作っていくものだとということで町としても考えている。2点目の団体からの陳情については、町に対しても議会に対しても陳情があり、その配置計画の案については町の方としては町民の方々の新庁舎の検討委員会というところで議論をし、町民の検討委員会の中では今回の配置案の陳情については議論するという部分ではなく、町としてはそういう配置案について進めていく方向性ではないというような結論になったため、このような新庁舎の基本計画の案の説明会としての議題としては挙げなかったということをご理解いただきたい。

(町民F)

言いたいことはそこである。議論に上げなかった。なぜ提案した団体と議論させないのか。良い提案でもある。町の今の案とそういった提案したものがぶつかり合って議論をする。それが無いのかということである。紙1枚ではなかなか中身はわからない。だから議論をすることによって深めてもらう。そういう風にしないと、自分たちの案だけが良くて、出たものは排除しようというそういうことが大見えである。なぜそういう議論会をやらないのか。やりたくないのか。

(事務局)

町民の検討委員会の中では議論をしており、その案についてはこういう町民の方々の説明会の場で議論する部分ではないという結論に至っているということをご理解いただきたい。今おっしゃったその団体との議論については、やろうという話が出れば、今のその配置案以外についても話し合いの場は持っていきたいと思うし、以前出前講座といった部分でも話し合いの場を持ったため、そういう機会があればぜひお聞かせいただきたいというふうに考えている。

(町民F)

申し入れがあればというが申し入れした。説明会等色々討論をしよう議論をしようとした。だからあなたたちがそれについてよく聞いて、話をしよう。町だけ、検討委員会だけで話すのではなく、そういったところと話をしてより良いものを作っていこうということで。出たものにも良いころはあるのだから。その案を皆さんに話すと良いなと思う人もいる。だからそういった点。ヨークベニマルあたりに行けば、いろんな意見があるとその下に回答が書いてある。それと同じ。回答なし。だからそういったものは葬るというような姿勢。そういうふうにはずっと来ている。やりたくないならいい。やりたくないなら言ってほしい。すぐ団体の皆さんを集めて討論をする。そこに興味のある方にも来ていただくなどする。申し入れをしたのだからそれは町の方から行うべきである。陳情という申し入れを12月にしてあるのだから。

(事務局)

確かに陳情という形で町に提出していただいて町の方で色々議論はしたが、回答的なものは町としてはしていないという事実はあるため、回答させていただく。また、その他の部分についても色々な部分で様々な方々と議論していきたいと考えている。

(町民F)

すぐ行ってほしい。もう12月に出していてそこから3ヶ月あるのだから。3ヶ月の間に何もアクションを起こしていない。今例えば皆さんの前にその案を提示しようかと言ったらどうするか。前に説明会のときにあったが、色々な案を持ってきてそこで皆さんに配布しようかと言ったらそれはやめてくださいと言われた。やはり議論はいろんな案等があれば皆に出していただいて話をしなくてはいけない。それをずっと怠ってきた。そういうふうには私を感じている。

(町民G)

普通の主婦から見ると自分の旦那の収入がなくなってきているのに30年後にもこんなに億の単位で借金しながら庁舎を建ててはいけないのかと思った。北見市の先ほどの話のように12万人もいるのに4年目に破綻したということだと、坂下はもう老人しかいないため誰も負担する人がおらず、人口1万人を切ったら誰が借金を払っていくのか。今厚生病院跡地の方に建てるべきなのかなと、一主婦としては大きな金額でびっくりしている。借金が増えないように、今の場所でもう1回考えてコンパクトに役場を建てられないのかなと。こういう大きな数字で今びっくりしている。今後人は生まれず死んでいだけだけで、借金多く背負って、跡地の方に建てるということはもう決まっているだろうが。

(事務局)

これから人口が減っていく中で、本当に町が成り立っていくのかというご心配を皆さん多く思われていることかと思う。そのため町としても、きちんと毎年シミュレーションをしながら、例えば10年後に成り立たなくなりそうだというようなシミュレーションが出たら、当然変更ということも考えるためのシミュレーションであるため、それをきちんと毎回行いながら取り組んでいきたい。そして心配の方をなくしていきたいという考えでいる。また、先ほど申したが、華美ではなく身の丈に合ったような庁舎をつくっていきたいと考えているため今後ともご協力をお願いしたい。